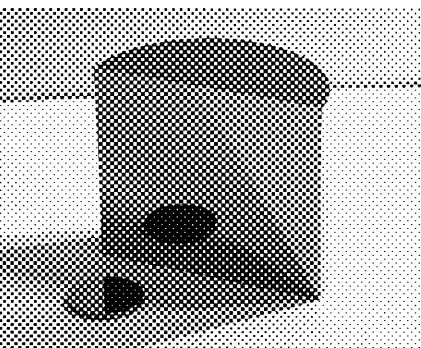


非タングステン合金開発 富士ダイス、安定供給強化

富士ダイスはタングステン合金を減する。近く試験販売スチールを使用しない合金を、2027年4月の本格発売を目指す。希少金属（レアメタル）の使用を抑えることで地政学リスクに影響されず、安定供給できるのが特徴だ。汎用超硬とは8・1で軽い。25年同等程度の硬さを持つ、重さは約半分で作業者や装置の負担を低

減する。近く試験販売スチールを使用しない合金を、2027年4月の本格発売を目指す。希少金属（レアメタル）の使用を抑えることで地政学リスクに影響されず、安定供給できるのが特徴だ。汎用超硬とは8・1で軽い。25年同等程度の硬さを持つ、重さは約半分で作業者や装置の負担を低



ほぼ腐食がない。超硬合金の約5分の3の鋼程度の比重で放電加工もできる。物理気相成

定供給を目指し、産出地が偏在するレアメタルの使用を抑えた合金の開発を進めている。26

年6月にはダイジェット工業とレアメタルの使用量を削減した合金の販路拡大で業務提携するなど、中国がレア

タングステン合金を使用しない合金
長（PVD）コーティングが可能で、耐磨耗性の向上や摩擦を低減できる。
同社は地政学リスクに影響されない安定供給を目指し、産出地が偏在するレアメタルの使用を抑えた合金の開発を進めている。26年6月にはダイジェット工業とレアメタルの使用量を削減した合金の販路拡大で業務提携するなど、中国がレア

26日に東京ビッグサイト（東京都江東区）で開幕する「日本国際工作機械見本市（JIMTOF2026）」に出展し初公開する。